

区立中学校カヌー一部出身

瀬立モニカさん 切符つかんだ! リオデジャネイロパラリンピック出場決定



▲皆さんからの支援を背に、万全の体制でいざパラリンピックへ

5月17～19日にドイツでパラカヌー世界選手権大会が行われ、区内在住の瀬立モニカさんがスプリント女子カヤック (KL1クラス) で、リオデジャネイロパラリンピックへの出場を決めました。9月のパラリンピックでは、みんなで瀬立さんを応援しましょう。

瀬立さんは江東区立中学校カヌー一部の出身です。高校1年生の時のけがにより一時は競技を断念しましたが、リハビリを経て、平成26年の夏(当時、高校2年生)からパラカヌー選手として復帰しました。旧中川などで練習を重ね、競技を始めてからわずか2年足らずで、見事にリオデジャネイロパラリンピックへの切符を手に入れました。

区は平成26年7月から、2020年東京パラリンピックへの選手輩出を目指し、区内の練習場所の提供や練習支援を行うなどパラカヌー選手の育成を進めており、瀬立さんはその当初から練習してきた選手の一人です。

また、地域の皆さんが練習を支援し、企業の方もカヌーの寄贈や遠征費の援助をしてくれるなど、区・地域・企業が一緒になってサポートしてきました。

リオデジャネイロパラリンピックは下記の日程で行われます。江東区でがんばっているアスリートをみんなで応援しましょう。

問 スポーツ振興課 ☎3647-4887、FAX3647-8506

**リオデジャネイロ
パラリンピックの日程**
9/7(水)～18(日)
※瀬立さんが出場するカヌー競技は
9/14(水)～15(木)

パラカヌーって
どんな競技
なの?

200mのスプリントで競う。カヤックとヴァー(本体横に浮き具がついている艇)の2種目があり、障害の程度によって3つのクラスに分かれている。リオデジャネイロ大会からカヤックが正式競技となり、東京大会からはヴァーも採用される予定。

多くの方のおかげでここまで来ることができました

出場が決まった時はコーチと泣きながら喜びました。3年前はベッドの上で動けなかった自分が、世界の舞台に立っていることをうれしく思います。競技を始めてわずか2年でのパラリンピック出場は、たくさんの人の支援がなければ実現することができませんでした。これからはパラリンピアンになるという自覚をもって、どういう形で社会に貢献できるのか考えながら3か月を過ごしたいです。

世界大会を終えた2選手が区長へ報告



諏訪選手も7位と大健闘!

▲支援者の方々と区長を囲み、次の大会の健闘を誓う

5/27、ドイツで行われたパラカヌー世界大会に出場した、瀬立・諏訪両選手をはじめコーチら選手団の皆さんが区長を訪問し、結果を報告しました。また、当日は、援助をしてくれた企業の方や、練習などを支援してきた地域の皆さんも出席し、喜びを分かち合いました。

リオデジャネイロパラリンピック出場を決めた瀬立選手は多くの方から祝福を受け、終始笑顔が見られました。ヴァーの種目で昨年の成績(8位)を上回り、7位入賞を果たした諏訪選手は「1位の選手との差も縮めることができた。さらにベストを更新していきたい」と話し、正式種目として採用される予定の東京パラリンピックに向けて、さらなる成長を誓いました。

山崎区長は「電話で報告を聞いたときは、うれしくて涙がでた。2人には障害のある方の希望の星として輝いてほしい。これからもがんばれ」と激励の言葉を送りました。